発行：環境アニメイティッドやお広報委員会

＼八尾をどっぷり楽しむ環境情報マガジン／ No.140

河内の風

02
2017

環境活動
支援金事業
成果発表会
P. 2

シリーズ
「八尾と能楽」
最終回 P.3

しおんじやまセスナ機ツアー

八尾空港→セスナ機上空から「百舌鳥・古市古墳群」や「しおんじやま古墳」→昼食「古墳懐石弁当」→地上から「しおんじやま古墳」「愛宕塚古墳」 P.4

八尾の淡水魚
ニッポン
バラタナゴ

八尾
バル
P. 4

環境アニメイティッドやおは、八尾市内で環境問題に取り組んでいる市民・市民団体・企業・教育機関などを応援するための協議会です

環境アニメ 検索

八尾フェス
学生
事務局

2016年度　学生団体「はちのじ」を立ち上げる
～地域の活動にも積極的に参加～

今年のいきいき八尾環境フェスティバルも楽しみに！

学生が事務局としていきいき八尾環境フェスティバルに関わり始めて、５回目のフェスティバルが開催されました。今年度は、特に学生たちが活躍した１年だったように感じます。正確には、学生と社会人が協力しあい、活躍した１年でした。

2016年から学生事務局は、フェスティバルだけではなく、八尾市内のまちづくりや環境のことに携わりたいと「はちのじ」という学生団体を立ち上げて活動をスタート。八尾市内でフィールドワークを実施したり、地域の活動に参加したり、時には八尾市外に出て活動を発表したりしています。

そんな学生たちが大切にしているのは「自分たちがやりたいと思う気持ち」。いろんな場面で「市民の主体性が大切」という話を聞きますが、まさしく、主体的に動いているチームです。

そんな彼らを見ていると自然とまわりの社会人実行委員のメンバーもやる気に。実行委員会のメンバーは、それぞれに活動のフィールドを持っていたり、仕事があったりと忙しいのですが、学生たちの自主的な動きと、その思いが少なからず実行委員会の雰囲気によく影響しているように感じます。だからこそ、2016年のフェスティバルは、学生と社会人がこれまでよりも強くつながり、協力して活躍できたフェスティバルにすることができました。

2017年のフェスティバルは、学生たちの「やりたい！」と思う気持ちと、社会人が「やりたい！」と思える気持ちを更に高めて、重ね合わせていくことで、これまでになく楽しいフェスティバルになっていくような気がしてワクワクしています！

（事務局／社会人実行委員　岡見　厚志さん）

成果
発表会

2/26
（日）

平成28年度
楽しい環境活動支援金
成果発表会のお知らせ

平成28年度の楽しい環境活動支援金を受けた団体の成果発表会を２月26日（日）に開催いたします。

発表を行うのは次の３団体です。

①NPO法人自然環境会議八尾

八尾での自然エネルギーの利活用と省エネルギーな生活を考えるために、昨年度実施した環境改善に取り組む事業者の調査活動をもとに講演会を実施した。

②NPO法人ナック

太陽光を一か所に集めて熱エネルギーを発生させて調理を行う器具「ソーラークッカー」を用いて、自然エネルギーを活用したエコな暮らしの体験と啓発を行った。

③八尾高校生物部

全国的に生息数が減りつつあるヒメボタルの生息地である八尾市東部において、生息数や生態調査を行うことで、里山の環境保全につなげる活動をした。

成果発表会には環境アニメイティッドやおに所属しているメンバーも参加予定です。八尾でどんな環境活動がされているのか、どんな団体が活動しているのか、少しでも興味のある方は是非お越しください。

▼会場：八尾市青少年センター集会室１（八尾図書館３階）
▼日時：２月26日（日）14:00～16:00（予定）
▼お問い合わせ：
環境アニメイティッドやお事務局
Tel：072-924-9359（八尾市環境保全課）

八尾の見どころ

ＦＭちゃお取材日記より（10）「コミセンまつり」

2016年2月28日 コミセンまつり

八尾にはコミュニティーセンター（コミセン）が10、さらに人権関係のコミュニティーセンターが２、計12館あり、毎年２月、３月のこの時期、それぞれの館でコミセンまつりが開催されます。

各々のコミセンでは、そこで開講されている絵画や書道などの教室で作成された作品が展示され、太鼓や舞踊などが舞台で発表されます。

ここでメニュー盛りだくさんのコミセンまつりを紹介します。作品展示では絵画、書道、生花、日本語教室などがあり、各種コーナーではパソコン体験、健康相談・高齢者相談、バザーなどが行われ、舞台では和太鼓、日本舞踊、エイサー、さらにマジックショーも披露されました。

八尾市文化賞を受賞した方の久宝寺寺内町16景が展示されましたが、これは１つの圧巻をなすものでした。

コミセンまつりはその地域で住民の交流が図られる重要な催しになっており、上記で取り上げたコミセンまつりの状況は、地域における住民同士の強い結び付きを物語っているものだといえます。　（東郷　久さん）

「八尾の見どころ」って？

「八尾の見どころ」では、FMちゃおで過去に取材された内容をそのままアーカイブ（記録保存）として、掲載しています。

「八尾では多くのイベントや地域の活動があるということを皆さんに知っていただきたい。」
「FMちゃおが取材をして、その会場や現場で感じた声を載せることで、当時の臨場感をお伝えしたい。」

をコンセプトにお届けしています♪

八尾と能楽

廃曲「高安」が復曲（10）

能「高安」
日時：２月25日（土）13：00～
場所：八尾市文化会館小ホール
演者：山階 彌右衛門　高安勝久

このシリーズも最後になりました。八尾と能の関わりにつき少しはわかっていただけましたでしょうか。

八尾に関する能曲は《伊勢物語の高安の女》《俊徳丸》《蘇我と物部の戦い》、をテーマにした物語がほとんどです。

そのうち「井筒」「弱法師」は現在も演じられていますが、廃曲になっているのもあるとシリーズ８回目（河内の風137号）で紹介しました。

「高安」も廃曲でしたが、この度、300年ぶりに復曲され披露されます。

能楽研究の権威、法政大学文学部教授西野春雄先生や山中雅志能楽師を中心に研究を重ね、数年をかけ復曲に至りました。多くの八尾市民にご覧いただきたいものです。

「守屋」は春日明神の加護により、上宮太子(聖徳太子)が物部守屋を滅ぼした、という内容の能曲です。天文二十二年(1553年)の演能記録がありますが、廃曲になっています。

物部は敗者のイメージが強く、ことに武家には受け入れられなかったかもしれません。

日本文化を代表する能楽の一流派が発祥し、その演目の舞台にもなっている八尾市域を改めて見直しています。

（坂上　弘子さん）

八尾
バル
3/4(土)

八尾のまちを楽しむ「地産地食」の飲み・食イベント

私たちは、八尾が好きです！
◎古来より自然に恵まれ、歴史のなかで豊かな文化をつちかってきたまち。
◎えだまめや若ごぼうをはじめ、新鮮で美味しい八尾特産の野菜があるまち。
◎おいしい料理とお酒と楽しい雰囲気でもてなしてくれる個性豊かな飲食店がたくさんあるまち。
◎世話やきのおばちゃんがいて、おもろいおっちゃんがいるまち。

この人なつっこいまちに暮らし、八尾のまちを愛しています。このすてきなまちをもっとたくさんの人に知らせたい、みんなでこのまちを楽しみ、盛り上げていきたい。そんな思いでこの八尾のまちを楽しむ「地産地食」の飲み・食べイベント「八尾バル」を企画開催しています。

（川瀬　英樹さん）

【次回の開催】
2017年3月4日（土）12:00～23:00（予定）
【今回のテーマ食材】
八尾の誇る早春の味覚「八尾若ごぼう」

チケット予約や、仕組みについては下記SNS等で確認してください。
八尾バル公式ホームページ：http://yaobar.net
八尾バル公式Facebookページ：
http://facebook.com/yaobar80
八尾バル公式ツイッターID:@yaobar80

しおんじやま
セスナ機
ツアー

八尾で巨大古墳を満喫！毎年開催の人気企画。全国各地から20名が参加！

毎年冬に実施している当館の人気企画「八尾市発！セスナ機で見る大阪の巨大古墳体験ツアー」を１月21日に開催しました。

これは、現在世界文化遺産への登録を目指している「百舌鳥・古市古墳群」や「しおんじやま古墳」を、八尾空港のセスナ機で上空から見学するというもの。

約20分のフライトの後は、バスで当館に移動し、八尾の名店『懐石料理 佑和』とコラボした「古墳懐石弁当」の昼食。午後は、しおんじやま古墳や府下最大の横穴式石室のある愛宕塚古墳を地上から見学。

今回、八尾や大阪の方はもちろん、兵庫や奈良、遠くは東京や神奈川から20名が参加。「八尾って、古墳や自然もあって、すごいですね～また遊びに来ます！」という声もあり、１日八尾の素材で古墳を堪能して頂きました。

（八尾市立しおんじやま古墳学習館　福田 和浩さん）

①セスナ機から見た「百舌鳥・古市古墳群」
②セスナ機に向かう参加者
③「佑和」とコラボした「古墳懐石弁当」
④「しおんじやま古墳」を地上から見学

木育

木を使うことが、持続可能な社会へとつなぐ。

子どもたちが描いた環境をテーマにしたポスター展を観に行ったときのことです。二酸化炭素を吸収する森林を大切にしようという主旨のポスターが見られる中、森を守るために木を切ってはいけない、木を切ることは悪である、という主旨のものがよくみられました。これははたしてそうなのでしょうか？

サスティナビリティ（持続可能性）が社会的な主要テーマになって久しい中、再生産可能な循環型資源である木材が注目されつつあります。その一方で日本の人工林における植樹、樹木の育成と伐採、さらに木材利用というかつての循環が失われたことにより、日本の森林環境は悪化しています。木を植えることばかり注目され、木を使うことは重視されない、それどころか木を切ることは環境に悪いというイメージが広がっています。

私たち木育フォーラムは木育の普及促進を目的としています。木育とは木材利用に関する教育活動です。従来の森林や木材に関連した環境教育では木を使うという生活者の視点が抜けていたように思われます。それを代表するのが「樹木を伐ることは悪」という考え方です。

木を使うことによって山の木が切られます。木が切られることで森林整備がすすみ、より良い環境を次世代に残すことにつながります。私たちの大阪は林産地ではありません。でも、木材の消費地であることから、木を使うことで森林整備に貢献することができるのです。木が切られないから森林整備がされない、森林整備がされないから森が荒れるという悪循環を、日本一森林面積が少ない大阪から木を使うことで好循環に変えていきませんか？

（NPO法人木育フォーラム　米地　徳行さん）

イーコラム
E-column
９７

エコバトン♫
～大人から子や孫たちへエコのリレーを～

小学生の頃、水不足になった夏がありました。校内に「節水」と書かれたポスターが貼られ、トイレの掃除当番だった私は毎日のように「節水、節水」と呼びかけるうちに、友だちから「せっすちゃん」というあだ名をつけられたのを今でも覚えています。

ちょうど娘がその頃の年齢となり、今エコクラブで活動しています。

日常生活でも節水、節電はもちろんですが、当時はほとんどなかったごみの分別やリサイクル、裏紙の再利用なども自分なりに頑張っています。

小さな頃から様々なことを知って、子や孫の未来のためにも、自分たちの住む地球を守ろうとする大人が増えていくことを応援したいと思っています。

（ 出向井　彩　さん ）

活動情報

ご参加をお待ちしています！

3/4（土）

八尾バル

3月のオススメ

八尾のまちを楽しむ「地産地食」の飲み・食べイベント

時間　12：00～23：00（予定）

場所　バル参加のお店

2/18（土）

弁当持参

歴史・名所の再発見！

八尾ふるさと歴史楽校

時間　9：30～15：00

場所　近鉄服部川駅改札口集合・解散

名所・旧跡に触れ八尾の歴史に親しんでいきます。
今回は、大窪・神立地区の古墳を散策します。

2/19（日）

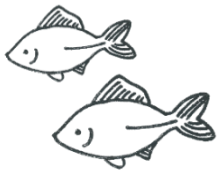
弁当持参

ニッポンバラタナゴ保護池の定期調査活動

時間　9：00～

場所　近鉄服部川駅改札口集合

ニッポンバラタナゴの生態を守るために水質調査や生態調査を行います。



2/23（木）

弁当持参

山のレスキュー探検隊

楽音寺森林整備定期活動

時間　10：00～

場所　大阪経済法科大学本部棟前集合・解散

大阪経済法科大学の裏山にある竹林の整備をしながら、ツリーハウス作りなどをしています。

2/25（土）

弁当持参

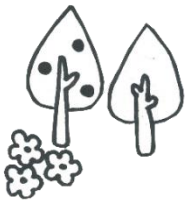
誰でも自然ハカセになれる！

高安の森自然楽校

時間　10：00～15：00

場所　近鉄大阪教育大前駅集合・解散

高安山の自然を通して森林ボランティアを養成する講座。
今回はシイタケの菌打ちを体験します。



3/5（日）

弁当持参

アウトドア派集まれ！

高安山自然再生定期活動

時間　9：30～

場所　近鉄信貴山口駅改札口集合・解散

地域の方々と一緒に、絶滅危惧種「ニッポンバラタナゴ」の保全活動に取り組んでいます。

河内の風はこちらで

近鉄八尾駅・河内山本駅・久宝寺口駅・Potager・
八尾市内各出張所・八尾図書館・山本図書館・志紀図書館・
龍華図書館・市立病院・プリズムホール・
学習プラザめぐる・かがやき・ウイング・歴史民俗資料館・
教育サポートセンター・屋内プールしぶき・
まちなみセンター・サポートやお・ＦＭちゃお・つどい・
みらい・福祉会館・近畿労働金庫八尾支店・
大阪経済法科大学・八尾市立しおんじやま古墳学習館

2/27（月）

地域密着型ラジオ番組

「情報プラザやお」放送

八尾市リサイクルセンター、学習プラザ「めぐる」の1年間の活動を振り返っていただきます。

時間　12：00～、19：00～、23：00～

ただいま、アニメイティッド会員募集中！■問合わせ先　環境アニメイティッドやお事務局 TEL：072-924-9359

年間会費：個人1,000円、市民団体2,000円、事業者5,000円、事業者団体10,000円